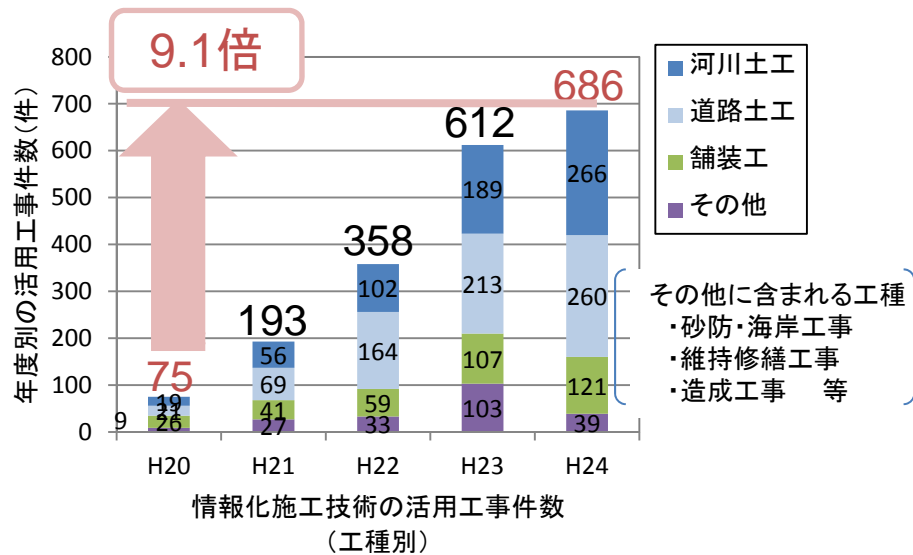


情報化施工の取組状況

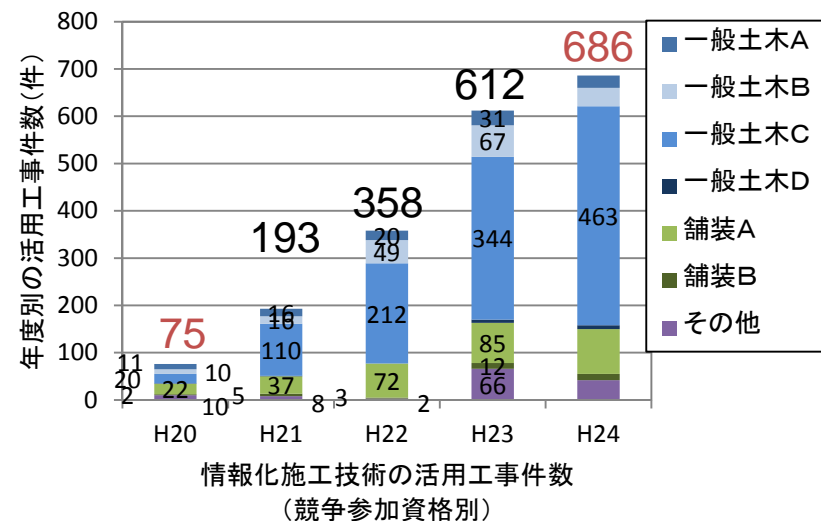
1. 活用工事件数の推移
2. 技術別活用件数の推移
3. 工種別活用件数の推移
4. 活用型別(発注者指定・施工者希望)活用件数の推移
5. 地方整備局等別活用状況

情報化施工技術の活用工事件数

- 平成24年度の情報化施工技術の活用工事件数は、平成20年度と比較し、75件から686件となり9.1倍に増加している。
- 平成24年度の競争参加資格別の活用工事件数は、平成20年度と比較し、一般土木B・C、舗装A・Bに該当する施工者が大幅に増加している。



(H25.3末現在)



(H25.3末現在)

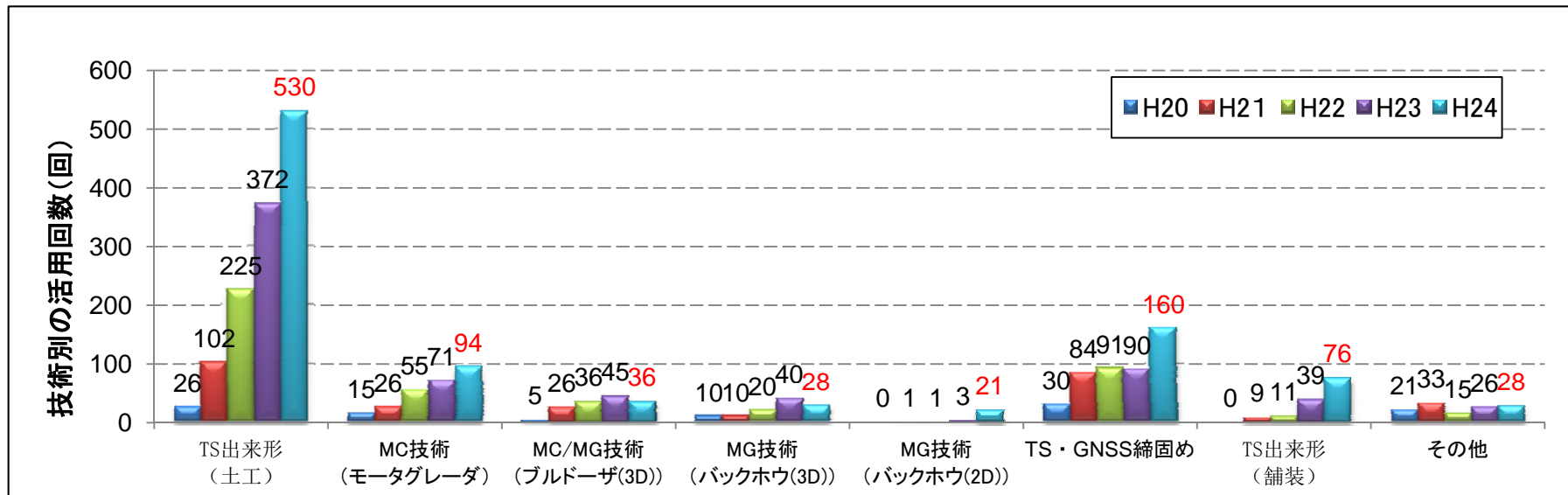
情報化施工技術の活用工事件数(契約年度別)

情報化施工技術の総活用回数(技術別)

平成24年度の情報化施工技術別の活用回数は、平成20年度と比較し、

- TS出来形(土工)が26回から 530回となり20.4倍に増加
- MC技術(モータグレーダ)が15回から94回となり6.3倍に増加
- MC/MG技術(ブルドーザ)が5回から36回となり5.2倍に増加
- MG技術(バックホウ(3D))が10回から28回となり2.8倍に増加
- MG技術(バックホウ(2D))が0回から21回となり大幅に増加
- TS・GNSS締固めが30回から160回となり5.3倍に増加

となっている。

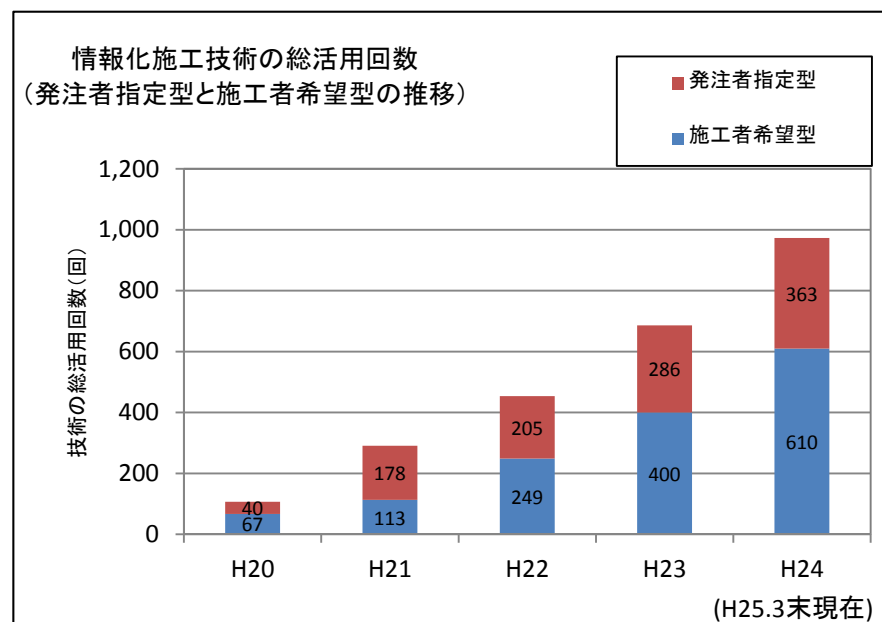
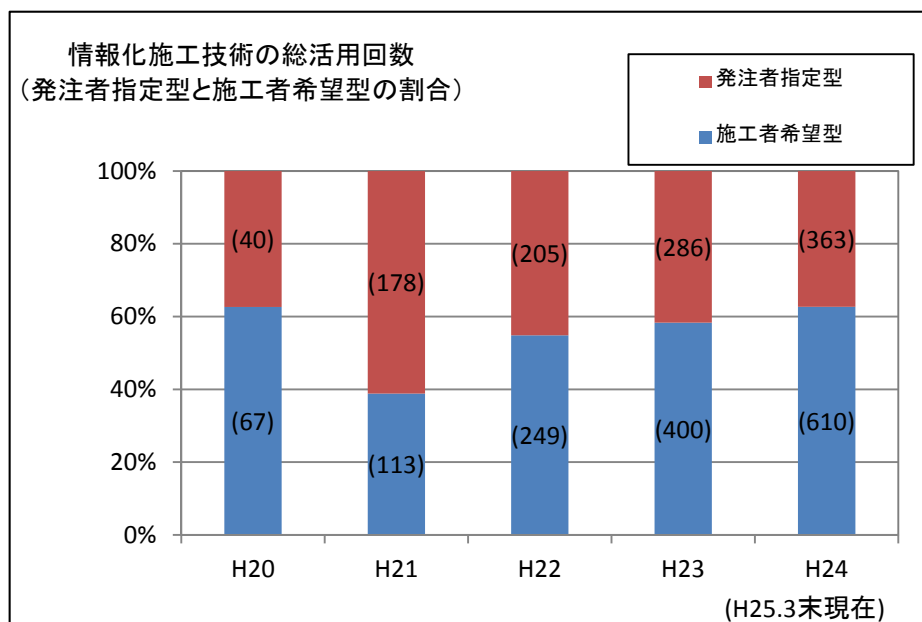


(H25.3末現在)

主な情報化施工技術の総活用回数

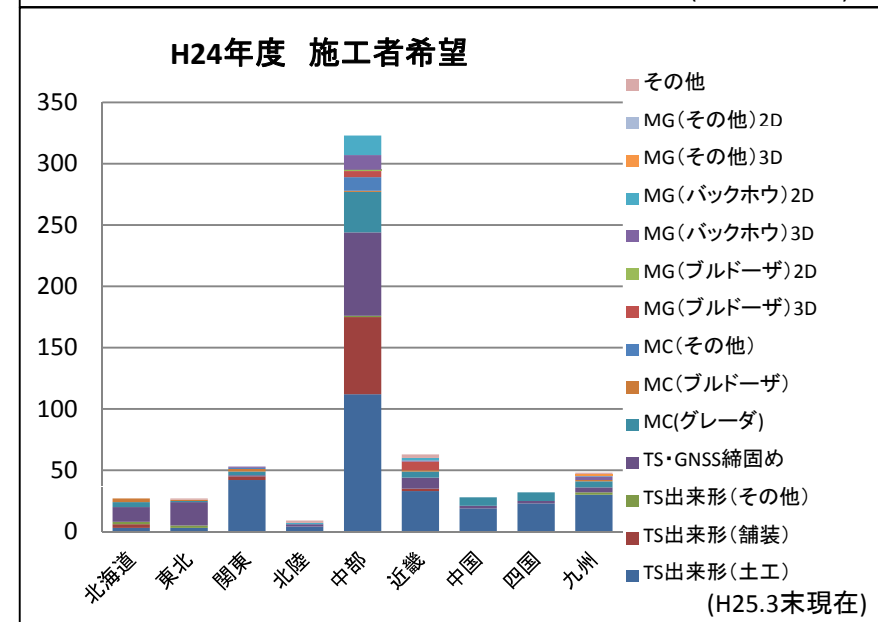
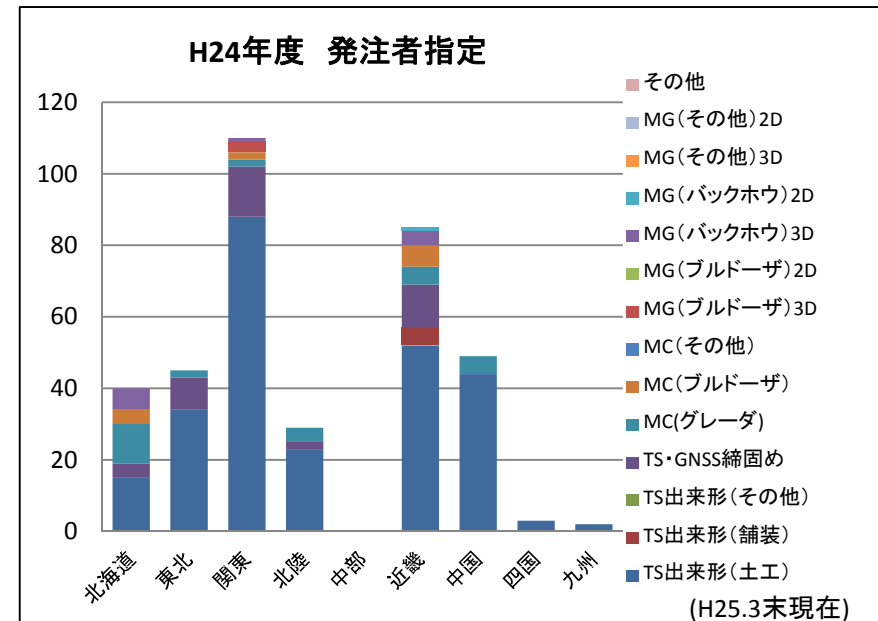
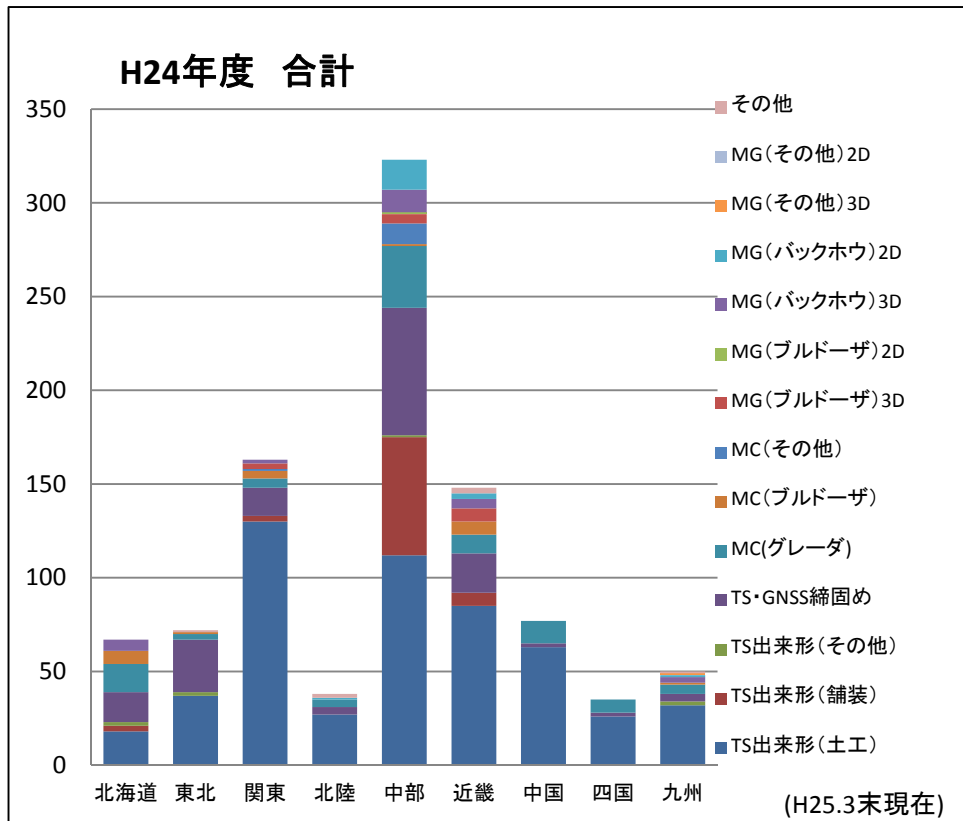
情報化施工技術の総活用回数

- 平成24年度の情報化施工技術の総活用回数は、平成20年度に比較し、107回から973回となり9.1倍に増加している。施工者希望型の活用回数は67回から610回となり9.0倍に増加している。
- 平成24年度の発注者指定型と施工者希望型の割合は、施工者希望型が約6割(973回のうち610回)を占めている。



情報化施工技術の総活用回数(契約年度別)

情報化施工技術の総活用回数(地方整備局別)



- 平成24年度の地方整備局毎の情報化施工技術の総活用回数は、中部・関東・近畿の順に多くなっている。
- 中部・四国・九州は、発注者指定に対し、施工者希望の割合が大きくなっている。